


山行報告書

山行報告提出者：鈴木

山域・山名：奥穂高岳（3,190m、長野県松本市）	
入山日：2023年8月10-11日(木金) 1泊2日 帰宅日：8月11日	
プラン担当者 正：鈴木 副：	山頂から見たジャングルム（右に奥穂影）
参加者 L 報記：鈴木 男 1名、女 0名、計 1名	
天候 8/10：曇り時々晴れ 中風 8/11：晴れ 無風	
8/10（木）	0：30 自宅発-圏央道桶川北本 IC 乗車-長野自動車道松本 IC 下車 新穂高駐車
8/10（木）	5：40 新穂高発-7：00 白出小屋-9：30 荷継小屋跡-12：40 穂高岳山荘 (テント泊) (行動：7h00m)
8/11（金）	3：20 起床-4：40 出発-5：30 奥穂高岳-7：00 ジャングルム-10：00 西穂高岳-12：00 独標-13：00 西穂山荘-14：00 西穂口（下山） ロープウェイにて新穂高へ (行動：9h20m)
荒天候時のエスケープルート：山行中止し引き返す。	
糧 装備と食	共同装備：無し 共同食：無し 車提供者：鈴木 個人装備：ヘッドランプ、コンパス、地図、飲料水、帽子、グローブ、スパッツ、ストック、 防寒服、雨具、日焼止、テント一式、シュラフ、マット、調理具、ヘルメット、 個人食：食料×5、行動非常食
感想	8/10 新穂高無料駐車場はすでに満車、やむなく有料（1泊¥1,200.-）に駐車。白出沢渡渉後は不明瞭な石ごろのザレ場が延々と肩まで続き閉口する。コロナやもともと少ない通過者に大雨で崩れたままになっていると推測する。奥穂テン場は地面に石の番号標が埋め込まれておりまるで西洋墓石のよう。風があったがテントで快適な一夜を過ごす。 8/11 ロング下山コースを鑑みご来光を見ずに出発する。奥穂到着するも休憩もそこそこにジャングルムへ向かう。途中の馬の背では前のパーティーがロープを出し始めたが、先を譲ってくれほった。ジャングルムではエンジェル板も健在で360°の視界を存分に楽しんだ。後はひたすら西穂山荘を目指し下り続けるのだが、天狗の頭、間ノ岳、西穂、ピラミッドピーク、独標、と次々と現れるピークに前日攀った足が心配だったが何とか下りきれた。西穂からはピストン客が多いため若干渋滞した。西穂山荘も大変な賑わい、下山しながらラーメンが頭の中をぐるぐる回っていたが、大変な行列を見て諦めコーラを代わりにお腹に収めた。ハードな2日間を天候に恵まれほとんどストレスなく過ごせ、満足感に浸りながら行きとは違う関越道で帰宅した。